グッドキャリア企業アワード2022

イノベーション賞

［厚生労働省人材開発統括官表彰］

コカ・コーラ ボトラーズジャパン ビジネスサービス株式会社

BOTTLERS JAPAN INC.

評価のポイント

部門責任者・上司・キャリアコンサルタントが連携し、
全世代を対象に、組織戦略と一体となったキャリア形成支援を実施

経営者からのメッセージ

当社グループは「すべての人にハッピーなひとときをお届けし、価値を創造します」をミッションに掲げております。今回の受賞を励みにこれからも人財と組織の持続的な成長に向けて歩みを進めてまいります。

代表取締役会長 兼 社長
ビヨン・イヴァル・ウルゲネス

企業概要

事業概要： 清涼飲料水、嗜好飲料、酒類および乳飲料類ならびに食品等の販売に関する事務処理、情報処理、電話対応の受託業務、飲料販売機材の管理

業　　種： その他のサービス業
所 在 地： 東京都港区
従業員数： 2,575 人（男性 1,477 人 / 女性 1,098 人、うち非正規雇用 679 人）
平均年齢： 46.6 歳
創 業 年： 2019 年

キャリア形成支援担当者紹介

キャリア形成支援の取組をして良かったこと

主体的なキャリア形成意欲が向上し、キャリア実現に向けて能力開発に励む社員が増えたことです。

キャリア形成支援の取組で苦労したこと

社員の主体的なキャリア開発行動を通じて、成長実感や仕事への満足感が得られるように支援することです。

統合プログラム
オーケストレーションサービス部
ケーパビリティ開発課 課長
石井 裕美子
担当年数：4 年

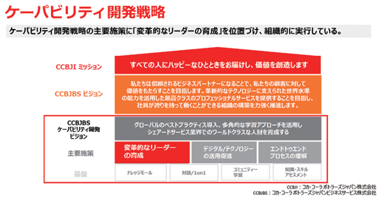
取組をはじめたきっかけとこれまでの経緯

コカ･コーラ ボトラーズジャパングループでは企業理念「Paint it RED! 未来を塗りかえろ。」のもと、変革を推進しています。ビジネスモデルの転換期の中で社員はスキルチェンジが求められており、特に組織変革を推進する変革型リーダーの育成が急務でした。組織変革の実現に向けて自ら考え、挑戦出来るリーダー人財を育成することをめざし、リーダーシップ開発とキャリア開発に取り組んできました。

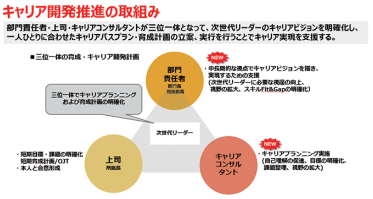
具体的な取組

部門責任者・上司・キャリアコンサルタントによるキャリア支援

組織変革を実現出来るリーダー人財を育成することを目指して、階層別にオンラインのリーダーシップ開発とキャリア開発プログラムを導入しました。一般職向けの「次世代リーダー育成プログラム」では、国家資格を保有したキャリアコンサルタントがキャリア面談を実施し、自己理解の促進およびキャリアビジョンの明確化を支援すると共に、部門横断型部門長面談も実施し、専門領域を超えたキャリアチェンジを実現出来るように支援しています。また、部門責任者・上司・キャリアコンサルタントが一体となって、社員一人一人に合わせたキャリア・育成プランを立案・実行し、部門の壁を越えた適材適所のキャリアの実現を支援しています。



▲ケーパビリティ開発戦略



▲キャリア開発推進の取組

取組の効果

社員のキャリア満足度およびパフォーマンスの向上

一般職向け次世代リーダー育成プログラム受講者の 90%以上は、キャリア面談を通じて自己理解が深まると共に、キャリアビジョンが明確になりました。また、部門横断型部門長面談を通じて視野が拡大し、キャリアの実現に向けて主体的に能力開発に励んでいます。社員の特徴・キャリアプランを反映させ、部門の壁を越えた適材適所のキャリアを実現させた結果、社員のキャリア満足度が向上し、パフォーマンス向上に繋がっています。

今後の課題と展望

社員のキャリア自律を通じて、組織の成長を実現

社員のパフォーマンスを最大限に発揮してもらうためにはエンゲージメントを高める必要があり、キャリア開発が重要成功要因であると考えています。社員がキャリアオーナーシップを発揮し、キャリアを実現出来るようにするために、社員が自ら手を挙げて挑戦することが出来る機会を増やしていきたいと考えています。キャリアを自律的に考え行動することが出来る社員の育成を通じて、組織の持続的な成長を目指します。

社員の声

Q1 自身のキャリアを考えるきっかけ（制度・出来事など）とは？

Q2 その後、取り組まれたことや起こった変化とは？

Q3 築いたスキルを今後どう活かしていくか、または将来ありたい姿とは？

カスタマーコンタクトセンターサービス部
リテールフードセールスコール課
岩根 末季

A1 30 代から様々な研修に参加させていただき、自身のキャリアを振り返り、何を目指していくのかが明確になりました。研修の学びをアウトプットできる環境もいただけ、経験値が増え自信にも繋がったのだと思います。

A2 チャレンジする事の楽しさを知り、自ら研修やプロジェクトに携わり、東京 2020 オリンピックの業務にはスーパーバイザーとして参加しました。短期決戦で多数のメンバーと協働し、改めてマネジメントの楽しさを実感しました。

A3 現在は営業で培った知識を活かしてチーム運営を行っています。今後はよりたくさんのメンバーと仕事をするためにも、学びの姿勢を緩めず、視座を高く持ち、更に一つ上のポジションにチャレンジしたいと考えています。

ファイナンスサービス部
RTR サービス課
林 洋介

A1 次世代リーダー育成プログラムへの参加と同時期に結婚と息子の誕生も重なり、今まで漠然としか考えてこなかった自身のキャリアをこれからは深く見つめていかなければならないと感じるようになりました。

A2 上司との 1on1 の中で自身の強みである購買・支払の経験を活かしながら更に知識を広げていきたいと希望を伝えました。結果、想定よりも早く異動が実現し、現在は希望していた決算関係の仕事に携わっています。

A3 社内研修への参加と並行して、簿記などの資格を取得した結果、今までよりも多角的な視点で業務に取り組むことが出来ています。この状態を継続して、自社のみならず社会にとって必要な人財となれるよう努力していきたいです。